

酪農宮崎

令和4年1月31日 印刷
令和4年2月1日 発行

編集人:立山 行広
発行所:宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県経済農業協同組合連合会
電話(0985)31-2100
<http://www.kei.mz-jp.or.jp/>
印刷所:宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!
毎月1日は牛乳の日!

NO.603
2022年2月



JA宮崎経済連 仕事納め式時の牛乳配布の様子

2月号目次

酪農情勢報告	1
ルーツを訪ねて!	2
技術のページ「難産を予防しよう」.....	3・4
令和3年度(後期)審査概況報告について	5・6
コーンシエルジュの紹介	7
牛乳料理/デリー牛乳広告	8
農学部ナンノ教授のひとりごと	9
令和3年度牛乳消費拡大の取り組みについて ..	11・12

自動登録について	13
全酪連広告	14
全農広告	

今月号のらくのう川柳はお休みです。



MILK UP!
プロジェクト



経済連HP

酪農情勢報告

1. 生乳生産動向

令和4年1月20日現在

指定団体	12月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	348,896	104.5	3,103,984	103.1
東北	41,777	99.0	376,400	99.1
関東	88,466	103.6	785,367	102.9
北陸	5,983	98.9	54,708	101.2
東海	26,921	101.1	242,579	101.4
近畿	12,510	102.5	111,492	103.6
中国	24,648	99.6	220,956	101.3
四国	8,824	99.5	79,428	100.2
九州	50,366	100.8	446,177	101.2
(内、宮崎)	5,929	100.9	52,674	99.5
都府県	259,496	101.4	2,317,107	101.5
合計	608,392	103.1	5,421,092	102.4

2. 販売状況

令和4年1月20日現在

用途	区分	12月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	247,963	96.7	2,429,824	98.1
	九州	32,133	99.9	318,696	100.7
はっ酵乳等	全国	35,283	97.8	345,301	97.0
	九州	6,582	96.5	64,615	97.8
特定乳製品	全国	174,316	113.5	1,336,048	110.0
	九州	8,947	108.1	40,472	110.3
生クリーム	全国	112,147	103.7	984,357	104.7
	九州	2,618	101.4	21,543	104.3
チーズ	全国	38,683	108.9	325,562	107.0
	九州	86	91.4	852	105.3
合計	全国	608,392	103.1	5,421,092	102.4
	九州	50,366	100.8	446,177	101.2

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3. 生乳出荷量別生産者戸数 12月

生乳出荷量	戸数
100 t 以上	6 戸
80 t 以上 ～ 100 t 未満	3 戸
60 t 以上 ～ 80 t 未満	7 戸
40 t 以上 ～ 60 t 未満	25 戸
20 t 以上 ～ 40 t 未満	73 戸
10 t 以上 ～ 20 t 未満	56 戸
10 t 未満	28 戸
合 計	198 戸
最高出荷量	190t/月
平均出荷量	30t/月

4. トピックス

処理不可能乳発生回避！

新しい年を迎え早くも1ヶ月が経過しましたが、この1ヶ月間は、昨年末からの処理不可能乳発生の危惧、新型コロナウイルスの感染拡大と不安な1ヶ月だったかと存じます。改めてではありますが、年末年始の処理不可能乳発生回避に向けた取組みに対しまして、酪農家の皆様をはじめ、乳業者・関係機関の皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。12月から各メディアで大きく報じられたこともあり、量販店・大手コンビニ等の支援、岸田総理・金子大臣などの呼びかけや農水省をはじめとする各行政の取組みも大きな要因であり、いろいろな支援の輪が広がりました。県内でも、県庁畜産振興課、各JA酪農担当部署が主導して、年末年始にかけて様々な取組みを実施していただきました。本当に感謝申し上げます。最大5,000tの処理不可能乳が見込まれていた年末年始は乗り切りましたが、生乳生産量が最大となる4月～5月にかけては、年度末の春休みと重なり、再度処理不可能乳の発生が見込まれます。生乳需給が緩和することで加工乳製品の生産量が全国の加工処理能力を超過する見通しとなっております。年度末の処理不可能乳回避に向けた対策を、九販連・関係機関等と連携を図り、飲用向け消費拡大にも努めてまいりますので、引き続きご理解ご協力賜りますようお願いいたします。

1月に入り、年末年始の帰省、成人の日を含めた3連休での往来などが原因なのか、新型コロナ感染者が急増しております。過去最多の新規感染者数を更新している都道府県が本県を含め相次いでおります。感染力の強いオミクロン株が猛威を振るい、無症状感染者・感染経路不明も多数で、これまで以上に感染防止策の強化が必要な状況になりました。重症化しにくい、コロナ感染による死亡者も少ないものの、感染者または濃厚接触者になることでやるべき作業ができなくなり、高齢者・基礎疾患をお持ちの方への影響を考えると、やはり甘く見るべきではないと思います。皆様もくれぐれもお気を付けくださいますようお願いいたします。

他県で発生が確認されている鳥インフルエンザですが、本県では幸いにもまだ発生していない(1月18日時点)状況です。養鶏農家・関係者の皆様の努力の賜物ですが、同じ畜産業に携わるものとして、今後の鳥フル発生ゼロを祈りつつ、我が家の酪農経営・本県の畜産業をしっかりと守るための防疫の徹底をよろしくお願いいたします。

一繰返すその努力があなたの自信、あなたの儲けですー

酪農課 今井 弘高

ルーツを訪ねて！「老牧夫回想録」より（高橋照次著）

また、酪連の四十五年以来実施して来た生産者の牝子牛買い取り育成する改良供給事業も子牛の選定が最も重要であるにも拘わらず事業所職員と生産農家との馴れ合いや思惑も排除し切れずに優れた仔牛の買付が難かしい。その結果は育成牛売却時点で値切られて、原価に達しないものが多い。四四、四五年頃の生産者の窮状を救う為に始めた事業で、一応目的を達した。もはや、生産調整時代に入ってまで之を続けて酪連の欠損を招き、結果的に生産者乳価にしわ寄せしてはならない。この見地では牡犢の肉畜育成事業も同じである。酪連の改良供給事業と牡犢育成事業は二つとも新規買付を中止し、あと二年ですべて終結することにしよう判断し、企画会議にもその意図を示し、理事会の了承も得た。この考え方にに基づき、酪農公社職員に対し先づ従来の都城市職員に準ずる給与体系を改める方針で同意を求めたが、なかなか理解を得難いので、一挙に宮崎県酪農公社と改称し、同時に全員辞任。減員の上、必要職員を一旦酪連に採用する方針を固めた。職員も酪連職員にして貰えるなら同意したので、この荒療法を五十四年度末で実施し、五十五年度から県酪農公社として最低要員に減員し、特に非行の数々が明らかになった酪農公社発足以来の場長を解任した。私も亦理事を辞任し、新経営陣に後を託した。その後、職員の語るところによれば、「あの時、よい場所を皆飼料畑に整地されるのでどうなることかと心配したが、あのお陰で何とかやれるようになったのだと思います。最近は良い畑になりました。」

㊦ グリコ乳業との取引開始

グリコ乳業は牛乳の安売りをしないことで有名な会社であるが、数年前から生乳供給事業を希望して度々来県していた。しかしながら関西方面への送乳順調のため、余り取引先を拡大しても夏季需要に応じられぬ懸念もあるため、見送りにして来た。然るに全国的に生乳生産過剰の様相があらわれ、その上、昨年の雪印関西に対する全国統一ストに協調して以来、一単協で本県の全生産量に近い岡山県のホクラクに関西雪印の原料を独占される状態にあるため、グリコ乳業（九州では佐賀、熊本に工場）との生乳取引について理事会に議り同意を得たので、今年度上期は試験期間（グリコの乳成分要求が高いため）として取引を開始した。

上期の成績が予想以上に良かったため、グリコが日本一と自慢する高原牛乳の原料適と云うことで、九月から霧島高原牛乳が発売された。

グリコの伊藤常務は昔、農林省に勤務して居られた頃から直接交渉はなかったが顔だけは知っていた。乳質厳選と云う伊藤氏の考え方には乳質改善を至上命令として取り組んで来た十年近い私自身と宮崎県酪連の理想に共通するものがあつたし、春以来のテスト期間にも教えられ、或は考えさせられるところが多かった。牛乳の安売り横行時代にグリコの高原牛乳だけでは業界でも最も高い二八〇円の小売価格を堅持している姿勢には敬意を表する。南日本の木之下社長がグリコの霧島高原牛乳の発売とともに県酪連に烈しく抗議して来たようだが、高原牛乳は早くから、那須高原牛乳、信濃高原牛乳、阿蘇高原牛乳、霧島高原牛乳のпатентをグリコが持って居り、他社が高原牛乳を使うことはできないわけで、南日本が歯ぎしりして口惜しがってもどうにもならない。グリコに生乳販売したのは三年もの検討の末、市乳化促進による生産者乳価の向上と安定の為、理事会に議って決めたことで、私個人の考え方ではない。

難産を予防しよう

牛の品種による妊娠期間の違い

品種	平均妊娠期間 (範囲)
ホルスタイン	279 (262-309)
ジャージー	279 (270-285)
ブラウンスイス	290 (270-306)
褐毛和種	287
黒毛和種	285

妊娠期間は、ホルスタイン種では約2日間程度延長しているという報告があり、実際には281日程度になっています。黒毛和種では4-5日延長しているという報告が多くあり、実際には290日程度になっています。

ホルスタイン種に黒毛和種をかけ合わせたF1では、ホルスタイン種よりも妊娠期間が約3日間延長し、黒毛和種の受精卵(ET)では黒毛和種の妊娠期間に近づきます。

妊娠期間は季節でも異なり、夏と比較して冬で約2日間冬の方が長くなり、雄と雌でも妊娠期間は違い、雄の方が約1日間長くなります。この傾向は乳牛でも和牛でも同じです。

このように妊娠期間は品種ごとに違いますし、季節や性別、栄養状態によっても異なることが分かっています。

難産になる原因

【初産】

牛は満3歳ごろに骨格の成長が終わるため、初産する2歳前後はまだ母牛の体は成長期であり、雌として完全形にはなっていません。よって育成牛の繁殖供用開始について、繁殖供用開始の頃の体重、ボディコンディションスコア(BCS)、骨盤の大きさなどを十分観察して人工授精を行うことが大切であり、決して月齢だけで繁殖供用開始を決めてはいけません。

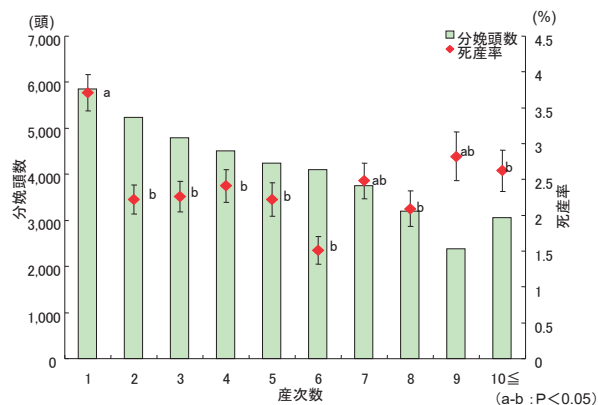


図1. 黒毛和種牛の産次別死産率の比較

産次別死産率では、経産牛と比較して初産牛で1ポイント以上死産率が高いことが分かります。黒毛和種と同様に、乳牛でも初産で最も死産率が高いことが認められています。

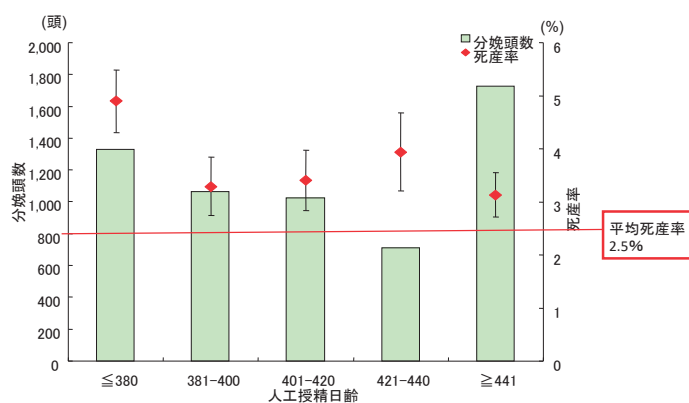


図2. 未経産牛に対する人工授精日齢が死産率に及ぼす影響

未経産牛のなかでも380日齢(13カ月)以下で人工授精を行った場合、死産率が特に高いことが分かります。人工授精をここで1か月早めても生涯産子数は変わりませんので、死産を防ぐためには十分に発育してから繁殖供用を開始することが大切です。

【栄養状態】

母牛が過肥の場合、産道狭小となり難産になりやすくなります。とはいえ、胎子は妊娠期間の最後の4週間で急激に大きくなりますので、胎子成長に必要な栄養は必ず増飼いすることが必要です。過肥対策は妊娠末期にすることではなく、妊娠していない時期にもしくは妊娠の中期までに行うことが大切です。適正なボディコンディションで妊娠末期を迎えられるように、前もって準備しましょう。

【種雄牛】

乳牛の場合、産子の難産率と死産率の予測値が種雄牛ごとに公表されているので参考にして、大きな産子が見込まれる種雄牛の使用を初産では控えると良いでしょう。和牛の場合はこれらの数字は公表されていないので、枝肉重量と産子の発育性(日増体量)の σ (シグマ)値が0またはマイナス表記になっている種雄牛を、初産牛では使用すると良いでしょう。

【性別】

雄産子のほうが出生時体重が重いので、乳牛の場合、性判別精液を利用することができます。

【季節】

厳寒期には難産と死産が増加します。これは北海道でも宮崎でも、ホルスタイン種でも黒毛和種でも同じです。環境温度が低いことで深部体温を維持する目的で体表温度が下がり、対交流性熱交換機構※1が働くことに起因しています。中心動脈血流量(子宮動脈血流量)が増加することで胎子体重が増加します。分娩前の牛が寒いところに居ないように、絶対に足元が湿潤で体温が奪われることがないように、乾燥した場所で妊娠末期と分娩期を過ごすとよいでしょう。

【体外受精卵由来】

食肉センター由来やOPU(経膈卵巣吸引)による未成熟卵母細胞を体外で成熟させて受精させ、培養した受精卵由来の産子は、場合によっては「過大子症候群」と呼ばれる過剰に大きな胎子になることがあります。これは受精卵の培養段階での変化によりますので、妊娠中の管理で変更できるものではありません。現在のところ、過大子症候群を予防する方法はまだありませんので、体外受精卵由来の胎子の場合、同じ作出条件で生まれた他の産子の分娩の状況を見定めて、計画帝王切開も視野に入れておく必要があります。

※1:対交流性熱交換機構とは、動脈と静脈が並走することで熱交換が効率的に行われる働きです。哺乳類や鳥類でこの機構は体温維持に役立てられています。冬に指先(末梢)は冷え冷えでも、脇の下(深部)は一定的で温かいのはこの働きのおかげです。ペンギンが凍傷にならないのはこの機構がとてもよく発達したからだと考えられています。

(NOSAI宮崎 生産獣医療センター 上松 瑞穂)

令和3年度(後期)審査概況報告について

(一社)日本ホルスタイン登録協会 審査委員 塩野 雅一

昨年12月6日から15日までの8日間、牛群審査並びに体型調査・ロボット搾乳適合性調査を実施致しました。訪問時は新型コロナウイルス感染症の蔓延状況が若干落ち着いていたとは言え、多々ご配慮を賜り快く受け入れて下さった生産者、宮崎経済連の方々をはじめ関係機関の皆様方には心より感謝申し上げます。

◎審査頭数について

今期日程では小林地域3日間・都城地域3日間・高鍋地域2日間で行い、35戸274頭の審査・調査を実施することができました。内訳は下表でお示ししたとおり、牛群審査は14戸185頭、奨励審査3戸9頭、体型調査18戸74頭(内、牛群審査同時3戸、奨励審査同時3戸含む)、ロボット調査2戸6頭となり、この他にジャージー種審査1戸3頭の審査を実施しました。例年に比べ大幅な増加となった今年度前期の牛群審査11戸205頭・奨励審査3戸13頭と比較し、頭数は若干減少しておりますが戸数は増加となりました。

また、後代検定体型調査は、後期の調査頭数を抑制したことで74頭に留まりましたが、通期では262頭(計画対比105%)を実施することができました。一方、ロボット搾乳適合性調査は通期22頭(計画対比22%)の結果となっております。体型調査・ロボット調査にご協力戴いた農家の皆様には、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

	74 以下	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92 以上	計 (平均)
牛群	0	0	0	0	0	3	6	8	17	21	8	17	38	27	19	17	4	0	0	185 (85.3)
個体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	2	0	0	0	0	1	9 (86.4)
調査	0	0	1	0	4	6	13	19	17	11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	74 (81.1)
JRL事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0)
ロボット事業	0	0	0	1	0	0	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6 (81.0)
計	0	0	1	1	4	9	20	29	35	32	11	22	40	29	19	17	4	0	1	274 (84.1)

◎全共出品強化対策の成果

地元宮崎県をはじめ九州・沖縄、全国の関係者がその開催を待ち望んでいた第15回全日本ホルスタイン共進会が中止となってから早一年が経ちました。コロナ禍により多くの県が共進会を中止する中、去る11月27日、宮崎県におかれましては第63回宮崎県畜産共進会を開催され、非常にレベルの高いものとなったと聞き及んでおります。今回審査・調査を実施した初産牛の頭数は延べ131頭で、決定得点は①82点、②83点、③81点の順となり、上位①～③で7割を占め平均得点は81.4点という結果となりました。都府県の初産牛平均得点は概ね80点ですので、この結果は県内一丸となって全共出品強化対策に取り組んだ証左であるとともに生産者の皆様の日々の弛まぬ努力の賜物であり、今後の更なるご活躍をご期待申し上げます。

◎EXは5頭

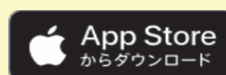
今回の審査でEX90以降に評価した牛は92点1頭と90点4頭の合計5頭(内、新規2頭・4E1頭・2E1頭)となりました。92点に評価した都城市今山陽一牧場の「グロリーナード マダム ブラン」号は、産でありながら高い底面と強い付着、幅のある素晴らしい乳器構造を備えておりました。また、90点に評価した4頭について、同市田中博実牧場の「ドリームカインプレッション ティーオ」号、同市川野洋平牧場の「スマイル TKO ブラッド ニック ローズ ET」号を新規EXに評価したほか、同市浜崎太一牧場の「プラチナゴールド プラクストン リー ET」号をEX90-4E、同市八木弘美牧場の「メーメヤス マッキー KB ロソリティー アグミ」号をEX90-2Eにそれぞれ評価しております。これは皆様の不断の努力、改良にかける情熱や意気込み等々がEXという形で結実したものであり、心より敬意を表する次第であります。

◎終わりに

国内における新型コロナウイルス感染症につきましては、ワクチン接種が加速的に普及したこともあり、第5波以降は沈静化を続けて参りましたが、感染力の強いオミクロン株の出現により年が明けてからは感染が拡大し、終息に向けては未だ不透明な状況にあります。当協会と致しましても、引き続き当感染症に注視するとともに感染防止対策の徹底に努めて参りますので、安定的な体型審査の実施にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではありますが令和3年度(後期)牛群審査、体型・ロボット調査の報告とさせていただきます。



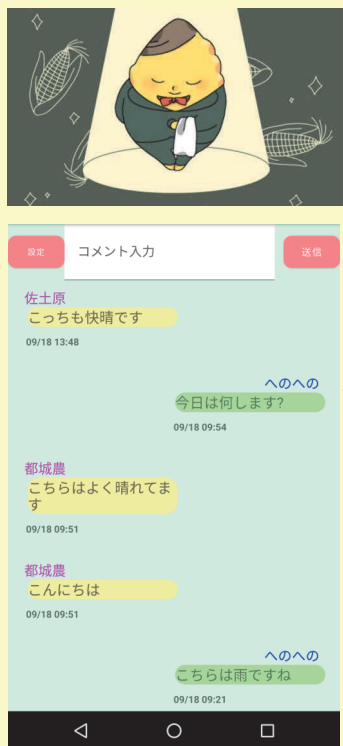
製作：宮崎県立佐土原高校 監修：宮崎県立都城農業高校
(プログラム：情報技術部, デザイン：産業デザイン科)



家畜飼料を収穫するための農業機械のレンタル日が重なって困る・・・

- ①作物の収穫日を予想する機能
- ②情報交換機能

アプリを開発



佐土原高校・都城農業高校が共同で開発した「コーンシェルジュ」。農業機械を共有している農家間において、収穫日が重なり、農業機械を使用したい時に困ることから考案されました。過去5年の気象状況を基に積算温度をアプリに搭載。作付け日から収穫日を予想し、農家間で収穫日が被らないように情報共有できるチャット機能もあります。品種や地域等、幅広く選択することができるので是非ご活用ください。

牛 乳 料 理 の 紹 介

まろやか ミルクフォンデュ



Jミルク ミルクレシピより

<作り方>

- ①鍋にバターを溶かし、薄力粉を弱火で焦がさないように炒める。
- ②牛乳を少しずつ加えてのばし、ホワイトソースをつくる。ローリエ・チーズを加え塩・ブイヨンの素で味付けする。
- ③じゃがいもは1個を4等分にしてゆでる。ブロッコリー・にんじんは一口大に切り塩ゆでに。ウインナーもさっとゆでて半分に切る。フランスパンは一口大に切って、皿にミニトマト、他の材料といっしょに盛る。
- ④③を串に刺し、温めた②のミルクフォンデュにからめながらいただく。

※このレシピはフォンデュ鍋ではなく普通の鍋でとても簡単にできます。
具材もご家庭にある野菜や海鮮などでもOK!ぜひお試しください。

宮崎県牛乳普及協会事務局:中山 真理子



<材料4人分の分量>

ミルクフォンデュ	じゃがいも	3個
バター	ブロッコリー	1株
薄力粉	にんじん	1本
牛乳	ウインナー	4本
ローリエ	フランスパン	1/2本
ピザ用チーズ	ミニトマト	4個
塩	串(竹串でもOK)	適宜
ブイヨンの素		小さじ1


 南日本酪農協同株式会社

ミルクでつなぐ明日の笑顔



農学部 ナンノ教授のひとりごと

ミッションとパッションとアクション

南野 快

コロナ禍以降、M大学でも外国人留学生がめっきり減った。入国することは不可能ではないが、国際交流の機会がなくなるのは学生本人のみならず大学にとっても損失だ。ただ、ウイルス感染予防という、命に関わることなので今は(と言っても、もう2年になるが)我慢するしかない。一方、別の要因で命に関わる案件がいくつもある。21世紀が20年以上経過した現在でさえ、世界の多くの地域で戦争や紛争が絶えない。イデオロギーや信条の違いに起因する衝突も日常的に報道されている。私を含めて多くの人は、それらの事件を画面の向こうの出来事(対岸の火事)として眺めている。同情はするが行動まではなかなか起こせない。仕事や私事で精一杯である。ただ、何かの縁で関わりを持ってしまうこともある。

M大学農学部では数年前まで数年間、多くのアフガニスタン人留学生を大学院生として受け入れた。私の研究室でも1名が博士課程の院生として4年間在籍した。2018年3月に帰国後は現地の大学教員として働き、メールやFacebookで近況を知ることができていたが、昨年8月の政変後に彼の身の回りの環境が急変した。日本(“西側諸国”)に留学していた彼には給料が支給されなくなり、女性は職場から追い出され、女子は学校に行けなくなって家に潜む生活を強いられるようになった。以上の様子を伝えるメールを2、3度受け取った後、昨年12月に「状況はますます悪化している。このままでは家族の未来が見えない。それどころか食料が尽きて飢えてしまう。日本で働く手段を見つけてくれないだろうか」と生活の逼迫を訴えるメールが届いた。

旧政権下で日本の国際協力に関わったアフガニスタン人を救済するため、日本の各関係機関が政府等に働きかけているものの、複雑な国際政治の壁の前に人道支援の公的ルートは大きく開かれていない。私も「彼は誠実で勤勉だし、進行中の研究プロジェクトに関わってもらうことに躊躇はない。しかし、一大学教員に出国の手助けなどできないのでは」と半ば

諦めていたものの、国内のいくつかの大学では一部の役員や教員が立ち上がって実際に「雇用」ビザの発給へと漕ぎ着けた例があることを知り、「やればできる!」と思い至ったのである。しかし現実には「地獄の沙汰も金次第」である。大学の懐事情は厳しい。雇用にあつた経費の他、家族を含めた渡航費や入国後の待機期間の滞在費など、人数が増えるほど経費はかさむ。大学にも極力サポートしてもらいながら、教員個人も自らが獲得した寄附金等の外部資金によりできるだけの支出をする覚悟が要る。また、来日する本人の覚悟も必要である。彼には12月に生まれたばかりの娘もいる。パスポートがないと日本への入国もままならない。現地でパスポートはすぐに発行してくれるのか? 来日へのハードルは低くない。しかし、使命感と情熱を持って行動するしかない。

いつになく硬いテーマになってしまったが、今、私が緊急で尽力している事態を紹介させていただいた。本稿の出稿が遅れたのもそのせいである(いや、言い訳に過ぎません)。編集担当のKさん、ご迷惑をお掛けして申し訳ありません。



2019年2月1日午前9時頃に宮崎から羽田への飛行機内から見た富士山。右手前に丹沢山地もよく見える。
この頃は出張であちこち飛び回っていたなあ。



環境対策

除菌・消臭



100V仕様

デカタイヤ
で楽々移動



牛舎使用事例

冬場の加湿効果
夏場は暑熱効果



延長パイプ使用例

(オプション)

マイコ・サルモネラ



ネブライザー効果

細かい霧 4 ~ 5 μm

※細霧ノズルの約10分の1

オキシリンクSP専用

協和化学株式会社

動物用医薬品・畜産用資材・器材販売

〒885-0036

宮崎県都城市広原町32号7番地2

TEL (0986) 23-6661

FAX (0986) 23-7778

E-mail: kyowachm@poem.ocn.ne.jp

<https://kyowachm.com>

令和3年度牛乳消費拡大の取り組み

J A 宮崎経済連酪農課 中山 真理子

令和3年度はコロナ禍で従来の消費拡大活動が出来ない中、県内酪農家・J A・J A 宮崎経済連・関係機関は、感染防止策を徹底しながら酪農理解醸成・牛乳消費拡大活動に取り組んでまいりました。

牛乳・乳製品に実際に触れ合ってもらいイベント等の代わりに、新しい生活様式に基づいたイベントを実施、印象に残っていただけるような活動ができたのではないかと思います。

引き続き、楽しい思い出となるような効果的な消費拡大及び理解醸成活動を行ってまいりたいと思います。

【父の日に牛乳を贈ろう！】



宮崎県酪農青年女性連絡協議会
県知事贈呈

【6月1日は世界牛乳の日・6月は牛乳月間普及拡大活動】



J Aビルでの推進



県内A コープでの推進

【みやざきミルクフェア2021】



「みやざきミルクフェア」の開催は2年ぶり



【「6月は牛乳月間」展示】



県防災庁舎展示スペースでの展示

地域のイベント活動

令和3年1月末現在

	J A	部会	日程	イベント名
1	こばやし	J Aこばやし酪農部会	4月6日	第44回高原町総合畜産共進会
2	児湯	児湯農協酪農部会	6月19日	女子サッカー Qリーグ戦ヴィアマテラス宮崎VS大分トリニータ
3	児湯	児湯農協酪農部会	6月20日	こゆ朝市
4	串間酪	串間酪農青年部	8月8日	J A串間市大束青年部「いも掘り大会」
5	串間酪	串間酪農青年部	10月11日	SAP農園収穫祭
6	こばやし	J Aこばやし酪農部会	11月6日・7日	J A農畜産物消費拡大プロジェクト
7	都城	都城地区酪農青壮年部連絡協議会	12月9日	有隣園での牛乳贈呈
8	都城	J A都城酪農部会	11月12日～14日	朝霧の里みやこのじょ創業祭
9	串間酪	串間酪農青年部	11月23日	第9回串間レスリングフェスティバル
10	延岡	J A延岡酪農振興会	12月27日	年末年始県産牛乳消費拡大キャンペーン
11	こばやし	J Aこばやし酪農部会	1月13日	牛乳・バター利用拡大推進運動

【MRTCheck!宮崎産牛乳Presents
園対抗牧草ロールころがし選手権】



【JA宮崎経済連Presents
みやざきうまいもん市場出展】



【年末年始の牛乳消費促進】

【「サンAカフェオレ」
特別価格キャンペーン】



約1,300ケースの実績となりました。
ご協力、ありがとうございました。



【みやざきMILKUP!
SNS投稿キャンペーン】



【宮崎県知事定例記者会見での
年末・年始の牛乳消費PR】



【J A 宮崎経済連 仕事納め式での推進】



【J A 延岡酪農振興会
年末年始県産牛乳消費拡大キャンペーン(チャレンジ1,000本)
(実績2,261本)】



本会の活動

広告	新聞	宮日新聞	2021年高校野球宮崎県大会特集	コロナ対策	A Z M レストラン	宮崎県産牛乳の消費PR
		毎日こども新聞	牛乳の栄養等の情報及び「毎月1日は牛乳の日」広告掲載	6月1日は 世界牛乳の日・ 6月は牛乳月間	J Aビル	「6月1日は世界牛乳の日」「6月は牛乳月間」普及・定着活動
		農業新聞	新年広告掲載「毎月1日は牛乳の日」		県内Aコープ	「6月1日は世界牛乳の日」「6月は牛乳月間」宮崎県産牛乳推進活動
	TV		「毎月1日は牛乳の日」 「みやざきMILKUP!」テレビCM	父の日に牛乳を贈ろう!		父の日に牛乳(うち)を贈ろうキャンペーン(県知事贈呈)
	ビジョン		AMUビジョン広告「毎月1日は牛乳の日」 「みやざきMILKUP!」	イベント		みやざきミルクフェア2021
	広報誌「Mモーション」		「6月1日は世界牛乳の日」「6月は牛乳月間」 広報誌への広告掲載			宮崎産牛乳PRESENTS牧草ロールころがし選手権
	PR		みやざきMILKUP!のほり掲示推進			みやざきうまいもん市場出展
			みやざきMILKUP! PRカード配布推進	大会	牛乳・乳製品利用料理コンクール(最終審査会)	
			「6月は牛乳月間」展示	キャンペーン	サンAカフェオレ特別価格販売キャンペーン	
	購買運動	宮崎産牛乳定期購買運動	みやざきMILKUP! SNS投稿キャンペーン			
職場で1日1本牛乳を飲もう運動		県産牛乳消費拡大キャンペーン				
LL牛乳・バター利用拡大推進運動						

自動登録とは、家畜改良センターへの出生報告と授精データから雌牛を自動的に血統登録するものです。

申込書を記入する手間がありません！

通常の血統登録申込みでは1頭毎に申込書の記入が必要ですが、自動登録はその必要はありません。家畜改良センターへの出生報告と、定期的な授精報告をすれば血統登録証明書が自動的に発行されます。

移動証明の申込みは必要ありません！

導入した母牛から生まれた子牛の登録には、通常では母牛の移動証明が必要ですが、自動登録ではその必要はありません。家畜改良センターへの転入報告があれば、雌産子を登録できます。

血統登録証明書の発行が早くなります！

自動登録は1頭毎の申込みが不要なため、血統登録証明書がお手元に届くまでの時間が短縮されます。雌牛が出生した翌月から翌々月までには登録しています。

登録料金が安くなります！

自動登録は飼養しているすべての牛を登録して頂くために、通常よりも500円ほど安い料金設定をしております。

自動登録、
はじめませんか？

自動登録のお申込み・お問合わせは、各都府県の当協会支部・承認団体の登録事務担当者まで。



👉 自動登録、はじめるなら・・・

一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会

初乳粉末製品

GOOD START PREMIUM

グッドスタート プレミアム 内容量 250g/袋

免疫グロブリン
70g/袋以上
含有



和牛
にも!



Your Partner 全酪連

全酪連 福岡支所 南九州事務所

くみあい配合飼料 乳配

くみあい配合飼料

フレーク&ペレット

➤ 乳配M

- CP 17.0%・TDN 72.0%
- ハイキューブ、綿実を多く配合したミックスタイプ



➤ デイリーアップ74

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- ベーシックな搾乳牛用配合飼料



➤ 乳ブレンド18

- CP 18.0%・TDN 74.5%
- 綿実・ビートパルプを多く配合



マッシュタイプ

➤ デイリープレミアムM

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- バイパス蛋白配合
- ビタミン・ミネラル強化



➤ パワーSマッシュ

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- シンプルな内容で低コストを実現

